

箱根の隠れ家

新田 由紀子

別荘を持てるご身分ではなし、別荘ライフに憧れる歳でもない。三度の食事や買い物はどうする。掃除・洗濯・布団干しにメンテナンス・防犯は。古参主婦には慣れた家にいる方が楽に思えてくる。

とはいっても旅はいい。日常を離れて気ままに自然の中で過ごす。朝の散歩のあとは読書や日課のパズルを、リビングにいるような気分で。食事なんかついでのコンビニで間に合っし、台所仕事も所変われば新鮮だ。一方、労せずして快適なラウンジと清潔な寝床は整っている。これに温泉があればいうことなし。肝心なのは、何日かいてもさほど懐具合を気にせず済むところ。

と、近場を探したら恰好の場所があった。箱根の名湯底倉温泉。歴史ある旅館をリノベーションした素泊まり宿で、トイレ・シャワー・キッチン・ラウンジは共有のゲストハウスだ。何よりも男女別ドミトリーがいい。「籠床」と銘打った和風モダンでシックな造り。カードキーセキュリティはもちろん、各ベッドの入り口は紺色の暖簾と簾で二重に仕切られて、プライベートは万全。極めつけは温泉風呂だ。蛇骨川の渓谷に面して大きく窓をとった大浴場と、風格ある露天岩風呂は旅館時代からのもの。温泉街に近いのに、山の気と静寂に包まれている。まさに隠れ家と一目ぼれだった。

素泊まりだから食事の段取りは必要だ。お昼は箱根湯本や近場の宮ノ下で。しゃれた食事処やカフェがある。夕食には弁当や総菜に飲み物も吟味して、朝食材料も調達。宿のキッチンで調理するのも楽しい。三日分の食料を小田原駅前で行ったこともある。新鮮な魚介を鍋にして熱燗をつけていたら、同宿の外人客の目が釘付けだった。古民具を配した落ち着いたラウンジで思い思いの食事風景。和風の円卓を囲む家族連れ、山荘風コーナーではパソコンを打つテレワーカーもいる。窓一面に渓谷の緑を望みながら贅沢なひととき。

一流観光地箱根に別荘気分でご過ごせる場所を見つけて、季節の楽しみが広がった。